

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p><教育目標></p> <p>京都府唯一の視覚障害教育に特化した特別支援学校として、幼児児童生徒に基礎学力をしっかりと身に付けさせるとともに、自立し、社会参加するために必要な資質や能力を育成する。</p> <p><学校経営目標></p> <p>視覚障害教育推進の中核校として、専門性の継承・発展に努め、指導力・支援力の向上を目指す。</p> <p>京都府立盲学校創立150周年を2年後にひかえ、これまで積み上げてきた学校作りを継承し、新たに「つたえる・つながる・つらぬく」をスローガンに教育活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立と社会参加を目指した教育活動の推進 2 共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育システムの推進 3 視覚障害教育の専門性及び指導力向上 4 地域支援をととしたセンター的機能の充実 5 「働きがい改革」を目指した学校運営 6 創立150周年記念行事の成功に向けた京都府立聾学校と連携した取組の推進 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他府県盲学校(視覚支援学校)、近隣の総合支援学校との交流をはじめ、居住地校との交流も積極的に展開し、集団での学びが充実した。 ・ホームページを活用して学部・寄宿舎の取組や様子等を積極的に発信し、新しい情報発信手段についても年度内に方向性を決定した。 ・地域支援センターが行う弱視教育に関わる指導者研修ではオンデマンド講座を充実させ、地域校の支援力向上に寄与した。 ・各種スポーツ大会へ参加した生徒が活躍し、本人の自己肯定感の向上と、活気ある学校作りにつながった。 ・関係機関と連携し、両校地の児童生徒の実態に合わせた避難訓練や緊急時対応訓練を行い、教職員も積極的に学びを深めた。 ・150周年記念資料集・実践事例集の編纂及び、京都府立聾学校と連携した記念行事の計画について年度目標どおりに準備を進めた。 ・統合型校務支援システム(サービス管理機能)をスムーズに導入し、事務的作業の効率化とペーパーレス化がさらに前進した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの連続性をもたせた校地間のつながりのある教育活動の推進 ・ICT教育力のスキルアップと授業での活用 ・言語活動を中心に据えた教育活動の一層の推進 ・キャリア発達と希望進路実現に向けたすべての児童生徒に対する系統的キャリア教育の充実 ・重複障害児の発達や支援についての研修の充実と指導者間共有 ・個々の視覚障害幼児児童生徒の状況に応じた地域支援の充実 ・専門性向上のための研究研修の一層の推進と教職員の学ぶ意欲のさらなる向上 	<p>○学校経営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安心安全な教育環境の保障 ・防災・防犯対策の一層の充実 ・安心安全な教育環境を基盤とした学校作り ・人権を尊重した教育活動の一層の推進 2 視覚障害教育の専門性及び指導力向上 ・自立活動を中心とした研究活動の推進と校外への発信 ・校内外の支援力強化 3 教育活動や学校の取組に関する広報手段の拡充 ・新たなSNSを活用した各学部、担当部署からの情報発信 4 「働きがい改革」を踏まえた組織運営 ・分掌業務の効率化と平準化 ・効率化により生み出された時間の本来業務への充当(研修・相談) <p>○教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立と社会参加を目指した教育活動の推進 ・教科教育並びに、視覚障害を伴う重複障害教育の充実 ・職業的自立と社会貢献を目指した理療教育の充実 ・生活自立を基盤とする生涯学び続ける力の育成 2 各学部における授業改善 ・言語活動の充実 ・児童生徒数の推移を踏まえた交流及び共同学習の発展 ・12年間の学びを見通した系統性のある学びの充実 3 スポーツ、文化活動の充実 ・将来の豊かな生活につながる各種大会等への積極的参加 4 ICT教育の充実 ・ICT機器を活用した授業実践 ・ICT機器や視覚支援機器、点字使用者の情報機器等の活用力の向上と生涯にわたる学習基盤作り <p>○地域支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 センター的機能の充実 ・地域で学ぶ児童生徒の質の高い学びへの支援 ・地域関係者・保護者との連携による伴走型支援の充実

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・「つたえる・つながる・つらぬく」を共通理念とした一体感のある学校経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・教職員との理念共有に基づく、各学部・分掌による組織運営や教育活動をととした学校風土作り 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な教育環境の保障 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校地の特性を踏まえた避難訓練、防犯訓練の計画的実施と、日常の防災意識・危機対応能力の向上 ・問題事象等に対する早期発見と組織的・計画的な対応と情報の共有 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の向上のための研修活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害教育を軸とした全員参加型の研修の充実と学びの機会の周知 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「働きがい改革」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図りつつ、本来業務の充実を「働きがい」につなげるコミュニケーション豊かな職場環境作り 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある取組の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの強化を図り、新たなツールを活用した学校情報の積極的な発信 		
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自分、学校に誇りをもち、未来を展望できる授業作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で「つたえる」ための積極的な場面設定と言語活動の推進 ・交流及び共同学習や職場見学等をとおして、「つながる」を具現化する教育活動の推進 ・児童生徒の将来像をイメージし、学部間連携による12年間を「つらぬく」連続性のある学びの推進 ・障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための教育活動の推進 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の利活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器や視覚支援機器、点字使用者の情報機器等の活用力の向上と生涯にわたる学習基盤作り 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路の実現に向けたつながりのある進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・12年間のキャリア発達を系統的に支える組織体制の充実 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、文化活動の積極的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感や将来の豊かな生活につなげる各種大会等への積極的な参加 		
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援の充実と地域の支援力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携による早期からの切れ目ない支援の充実 ・オンデマンド型の研修を充実させ、年間を通じて研修機会を提供 		

学校関係者 評価委員会 による評価	
次年度に 向けた改善の 方向性	